

堀川をめぐる人びと

堀川開削410年をふりかえる

いつも心に川がある
堀川まちづくりの会企画展

時代の波に乗り、荒波を越えた材惣 歴代の鈴木惣兵衛

創業330年、エノキアン協会加盟の老舗

元禄3年(1690)初代惣兵衛が知多で創業、10年後に五条橋近くの元材木町に移り、材木屋惣兵衛として地歩を固め藩の材木商十人衆の一人となる。二代目は町代をつとめ、古渡に木場を設けた。平成23年(2011)本社を桜橋東南角に移転し、社名を材惣から材惣に変更。2017年に持株会社制の「材惣DMBホールディングスグループ」となった。

エノキアン協会(本部パリ)とは、創業200年以上存続してきた伝統企業で、現在でも創業家による同族経営を維持し続けることが参加の条件となっている老舗企業の国際組織である。日本では10社、世界で50社が条件を満たし加盟、愛知県では同社と岡谷鋼機の2社が加盟している。

材惣五代目惣兵衛 藩より御勝手御用達に、苗字帯刀を許される

文化2年(1805)五代目惣兵衛(1782~1841)は東掛所(東別院)再建の情報を知り上洛、本願寺の信頼を得て、本堂再建用材を一括で納めることになった。古渡橋近くに貯木場を設け、木場に枅方御作事場も設け、文政5年(1822)

に成し遂げた。藩より御勝手御用達に取り立てられ苗字帯刀を許される。以降代々鈴木惣兵衛を名乗り、幕末には、三家衆、除地衆じよちに次ぐ十家衆に名を連ねた。高力猿猴庵が五代目材惣の活躍したこの再建時のことを日記に記している。手斧初めちようなが行われた翌年の文化3年12月のことだ。

東掛所(東別院)再建の材木、大木を海上より、船廻しにして堀川山王横町の河岸、木場に成、山王横町地形やわらかなる故、大松の敷木をして、東輪寺門前へ筋違に車道を出来し、茶屋町へ引出す。此節、追々、材木水上にて、諸同行、老若男女、綱を引、木やり唄にて賑合。

山王横町から東輪寺門前まで、材木を運ぶために斜めに道が出来あがった。賑やかに木遣り唄を歌いながら綱を引く行列が続いた。木遣り唄によって、皆の力が合わさり祈りも重なり合って巨木も動く。

八代目鈴木惣兵衛 名古屋財界を牽引

八代目鈴木惣兵衛(1856~1925)には、酒造業を営む日比野家長男の茂三郎が見習い修業で入店し、七代目(1823~91)に取り立てられて、明治8年に家督を継いだ。家業は維新の混乱で厳しい状況にあったが、木曾や飛騨に入り、自分の目で確かめることに注力、山への投資も始め、さらに時代の変化に素早く対応して枕木・車両・電柱・電信柱など時代に即した販路を開拓し、鉄道、電気、電信の普及に貢献し家業を立て直す。その後、愛知時計電機製造(株)の初代社長に就任。衆議院議員(1898~1912)、名古屋商業会議所七代目会頭(1913~1920)としても活躍する。

明治26(1895)年に見習い修行で入店していた鋳物師水野家の三男・鈴四郎が2年後八代目の長女と結婚。八代目が公務で多忙の中、社業を任され、やがて九代目となる。

大正10年、東京に日本舗装道路(株)を設立、翌年、名古屋市港区の現在地(港新橋近くの堀川沿い)に移転。木材の長寿命化を実現する防腐加工工場を建設し事業を開始、大日本木材防腐(株)と社名変更し、現在も操業している。

七代目と八代目の隠居所 文人サロンの龍門園(暮雨巷)

七代目は慶応2年(1866)上前津の文人加藤暁きょうたい台ぼうこうの住んでいた暮雨巷と近隣の地を手に入れ、龍門園として整備して隠居所とした。八代目も龍門園を隠居所とした。皇族の小松宮や有栖川宮、著名な政財界人や歌舞伎役者などが訪れている。しかし名古屋市の道路拡張計画で、龍門園も対象になり、隣接地を探すがうまくゆかず、大正10年に龍門園は閉鎖された。暮雨巷だけは瑞穂区弥富に移築され、現在は三菱UFJ銀行保有となって残されている。

八代目惣兵衛は、日比野茂三郎時代に14歳で佐藤牧山の塾に入り、儒学を学び、その際に「鹿山」と名乗っていた。彼の没後、交流のあった有志16人が資料収集や親交者からの聞き書きを編纂し、『鈴木鹿山傳』を昭和4年(1929)に刊行した。経済人・政治家・文化人鹿山の人となりがよく著されている。材惣八代目が名古屋商業会議所会頭として多忙ななか、明治26年に見習い修業で入店していた鋳物師水野家の三男・鈴四郎が2年後に八代目の長女と結婚しやがて九代目となり、社業全体を支えていた。

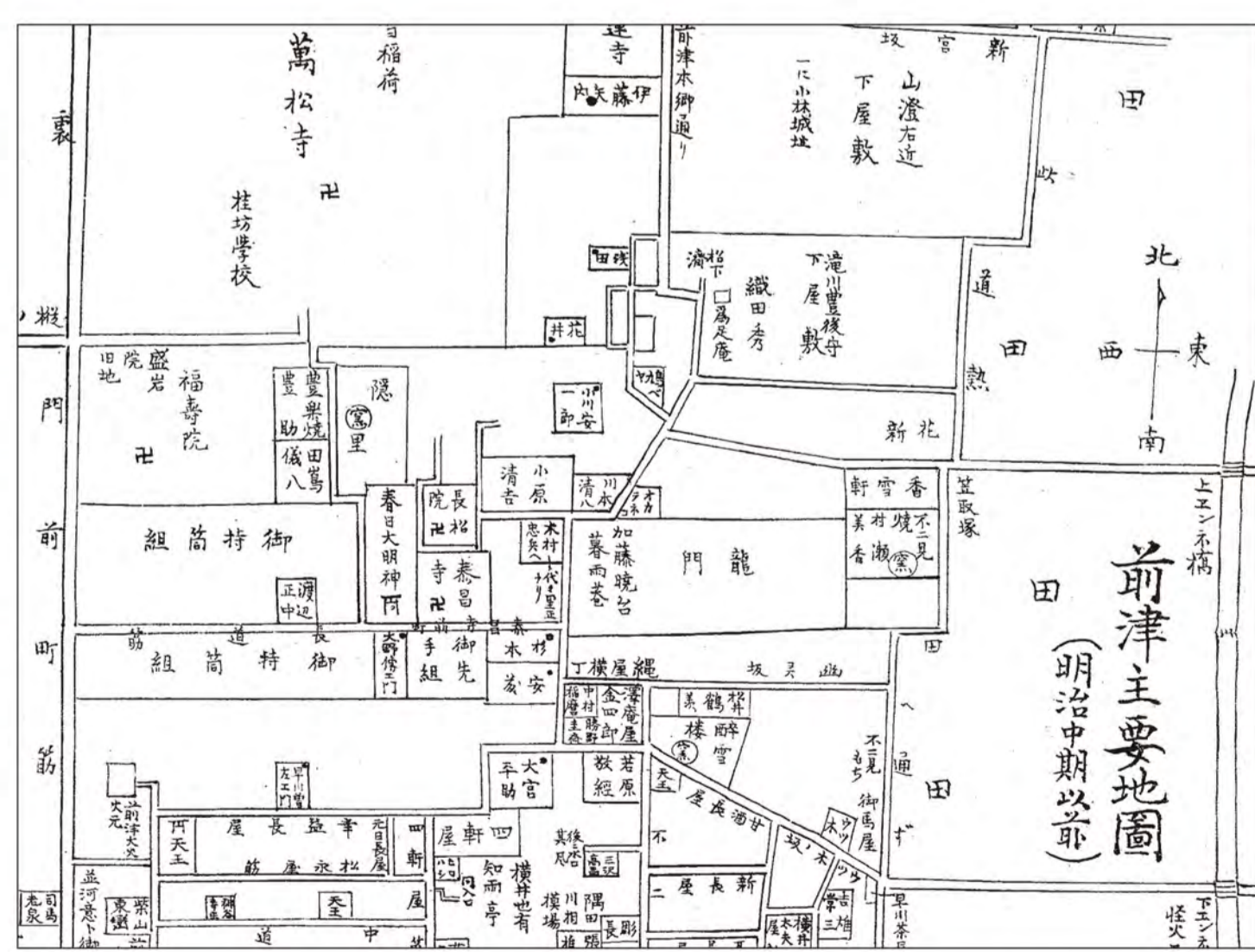
時は移り、十一代目鈴木正治(1924~1995)は、戦後の荒波を越え、伊勢湾台風後、西部木材団地への集団工場移転を推進した。平成5(1993)年には全国木材組合連合会会長に就任し業界を支えた。現在の十二代目鈴木龍一郎(1960~)が取り組むゼロエネルギービル(ZEB)は、SDGsやカーボンゼロへの取り組みでもある。難燃化処理CLT集成材(直交集成板)も採り入れられた堀川沿いにあるザイソウハウスは、モデルハウスとなっている。業務は多角化され、材惣DMBホールディングスは14社で構成され、総帥を担っている。



五代目 鈴木惣兵衛(材惣会社案内)



八代目鈴木惣兵衛(材惣会社案内)



山田秋衛『前津旧事誌』付録図 部分



暮雨巷本座敷(暮雨巷パンフレットより)